

意見書案第 9 号

軍用機オスプレイの配備の中止、及び政府の購入計画の撤回を求める意見書

上記の意見書を次のとおり提出する。

平成 27 年 6 月 18 日提出

提 出 者				
	向日市議会議員	北 林	重 男	
		飛鳥井	佳 子	
賛 成 者				
	向日市議会議員	丹 野	直 次	
		杉 谷	伸 夫	

軍用機オスプレイの配備の中止、及び政府の購入計画の撤回を求める意見書

日米両政府が、特殊作戦用の垂直離着陸輸送機C V 2 2 オスプレイを、2 0 1 7 年から米空軍横田基地に配備する計画を発表した。米海兵隊所属のMVオスプレイはすでに沖縄に配備され、県民の安全をおびやかしているが、今回の計画は、沖縄への負担軽減に繋がらないどころか、沖縄の現状が首都・東京、ひいては日本全体にも及ぼすことに他ならない。

そもそもオスプレイの本質が戦争遂行のための軍用機であることは論をまたない。中谷防衛大臣も「米特殊作戦部隊の迅速な長距離輸送という任務を達成する」と言っている通りである。そのうえさらに問題なのは、同機が、従来から、「通常の訓練時」にも事故が絶えない危険な軍用機であることである。先日もハワイの米軍基地で着陸に失敗し、2人が死亡している。住宅地で同様の事故が起こらないとも断言できない。

しかも日本政府は、米軍所属機の配備だけでなく、政府自身が同機を購入し17機を自衛隊に配備する計画であり、その額は、当面、約3600億円といわれている。これは今年度の社会保障費削減分3900億円にも匹敵するものである。

よって、国におかれては、軍用機オスプレイの沖縄からの撤退、東京等への配備計画の中止、及び政府の購入計画を撤回されるよう、強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年6月18日

京都府向日市議会